

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2019-205849 (P2019-205849A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-049
 【出願番号】特願 2019-135332 (P2019-135332)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0
 A 6 3 F 5/04 6 2 0
 A 6 3 F 5/04 6 7 1

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 4 月 1 日 (2020.4.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 遊技に対する賭数として所定数の遊技価値を設定することにより複数種類の図柄を可変表示可能となり、可変表示が停止したときの図柄に応じて遊技価値を付与可能な遊技機において、

所定の開始条件が成立してから所定の終了条件が成立するまで有利期間に制御する有利期間制御手段と、

賭数として設定された遊技価値と可変表示が停止したときの図柄に応じて付与された遊技価値とに基づく差数を累計した累計数を特定する特定処理を行う累計数特定手段とを備え、

前記終了条件は、前記有利期間中における前記累計数の最下値を基点とし、当該有利期間における当該基点からの前記累計数が特定数に到達することにより成立する特定終了条件を含む、

前記累計数特定手段は、前記可変表示が停止した後であり、前記特定終了条件成立の判定処理の前である所定タイミングで前記特定処理を行い、

前記特定処理では、

遊技価値を新たに用いることなく次の遊技を開始可能にする再遊技役に対応する図柄が停止されたときには当該停止について遊技価値を累計数に累計せず、さらに、次の遊技開始について遊技価値を累計数に累計せず、

累計数が 0 未満又は 0 以下となる場合には当該累計数として 0 を設定し、

前記特定終了条件成立の判定処理については、前記再遊技役に対応する図柄が停止されたか否かにかかわらず前記所定タイミングの後において行う、遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 3】

このような遊技機においては、有利な状態においてメダルの純増枚数を算出するものがあった（たとえば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、従来の遊技機では、純増枚数の算出について改善の余地があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、従来の遊技機に例示される純増枚数を好適に算出できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のある局面に従う遊技機は、1遊技に対する賭数として所定数の遊技価値を設定することにより複数種類の図柄を可変表示可能となり、可変表示が停止したときの図柄に応じて遊技価値を付与可能な遊技機において、所定の開始条件が成立してから所定の終了条件が成立するまで有利期間に制御する有利期間制御手段と、賭数として設定された遊技価値と可変表示が停止したときの図柄に応じて付与された遊技価値とに基づく差数を累計した累計数を特定する特定処理を行う累計数特定手段とを備え、前記終了条件は、前記有利期間中における前記累計数の最下値を基点とし、当該有利期間における当該基点からの前記累計数が特定数に到達することにより成立する特定終了条件を含み、前記累計数特定手段は、前記可変表示が停止した後であり、前記特定終了条件成立の判定処理の前である所定タイミングで前記特定処理を行い、前記特定処理では、遊技価値を新たに用いることなく次の遊技を開始可能にする再遊技役に対応する図柄が停止されたときには当該停止について遊技価値を累計数に累計せず、さらに、次の遊技開始について遊技価値を累計数に累計せず、累計数が0未満又は0以下となる場合には当該累計数として0を設定し、前記特定終了条件成立の判定処理については、前記再遊技役に対応する図柄が停止されたか否かにかかわらず前記所定タイミングの後において行う。

なお、以下の構成を備えるものであってもよい。所定の開始条件が成立することにより有利可能期間に制御する有利可能期間制御手段と、前記有利可能期間中において遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、賭数として設定された遊技価値と可変表示が停止したときの図柄に応じて付与された遊技価値とに基づく差数を累計した累計数を特定する累計数特定手段と、前記有利可能期間中における前記累計数の最下値を基点とし、当該有利可能期間における当該基点からの前記累計数が特定数に到達することにより、当該有利可能期間を終了させ、当該有利可能期間中において前記有利状態に制御されているときには当該有利状態をも終了させる終了制御手段と、前記有利可能期間中における前記累計数が前記特定数まで所定数未満で到達することとなる所定累計数となることにより、前記特定数に到達して当該有利可能期間が終了する旨を特定可能となる特定演出を実行する特定演出実行手段と、前記有利状態中においては賭数として設定された遊技価値と可変表示が停止したときの図柄に応じて付与された遊技価値とに基づき当該有利状

態中における純増数を表示し、前記有利状態中であっても前記所定累計数となることに基づき当該純増数の表示を終了する純増数表示手段とを備える。